

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		職員採用事業					②事業番号		1204										
③事業類型		3. 政策推進事業			④開始年度		— 年度		⑤終了予定年度		年度		○ 設定なし						
⑥根拠法令等		○ 法令		条例		○ 規則		要綱		○ 計画等		その他		法令等の名称		泉南市職員採用規則外			
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担		その他									
⑧関連予算科目コード				款		2		項		1		目		2		細目		5	
⑨担当部名				⑩担当課名										会計		一般会計			
総合政策部				人事課															

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	対象年齢の引き上げ、公務員試験対策をしていなくてもチャレンジできる筆記試験問題、人物を重視(面接重視)した採用試験の実施等、他団体との差別化により受験生からは好評を得ている。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **B**

②期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	対象年齢の見直しや人物を重視(面接を重視)した採用試験の実施により、事務職の応募者数は一定確保しているが、技術職の応募者数は伸び悩んでいる。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	筆記試験の受験方法をテストセンター方式に変更することで、より多くの応募者を確保することが期待できる。また、採用における応募管理をシステム化することで、受験者・募集側ともに事務量削減となり、さらなる母数の確保につなげることで、より優秀な人材を獲得することをめざす。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	より多くの受験生の中から、優秀な人材を確保するため、短期間に受験生の資質・将来性を判断する必要があり、面接試験を他課の職員の協力を得ながら実施しており、これ以上の削減は困難である。
--	--	--

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	「地方創生」のスローガンの下、国からの補助金などが徐々に減らされる中で、多様化する市民のニーズに応え、収入を稼ぎ、コストを削減する覚悟が求められている。このような変化に対応するためには、単に国や制度に基づく方針を無難にこなすだけの人材ではなく、地域のニーズを見極め、資源を活用しながら、新しいことに取り組む人材が不可欠になっている。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)				
	↓				
b	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				

①改革、改善の具体案、実施年度など	市ホームページの充実や広報紙等の媒体による情報発信はもちろんであるが、インターネットの企業情報サイトへの情報掲載等も積極的に行っていく。 新型コロナウイルスの第4波が懸念される中、面接のオンライン化や動画選考等についてすみやかに検討していかなければならない。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	民間企業や他団体ではなく、泉南市を選んでもらえるよう、泉南市の魅力を発信していく必要がある。 受験しやすい環境の整備、泉南市で働く魅力や職場の雰囲気などの情報発信及び求めている人物像(変化を感じ取り、新しい視点や発想で物事を考え、積極的に自ら行動することができる職員)を明確に打ち出すことで、申込者数の増加だけではなく、本市の期待する人材の確保につなげていく。